

# 2023年3月期

## 第2四半期決算説明会



2022年11月4日  
ヤマハ株式会社

# 決算発表のポイント

## 決算概要

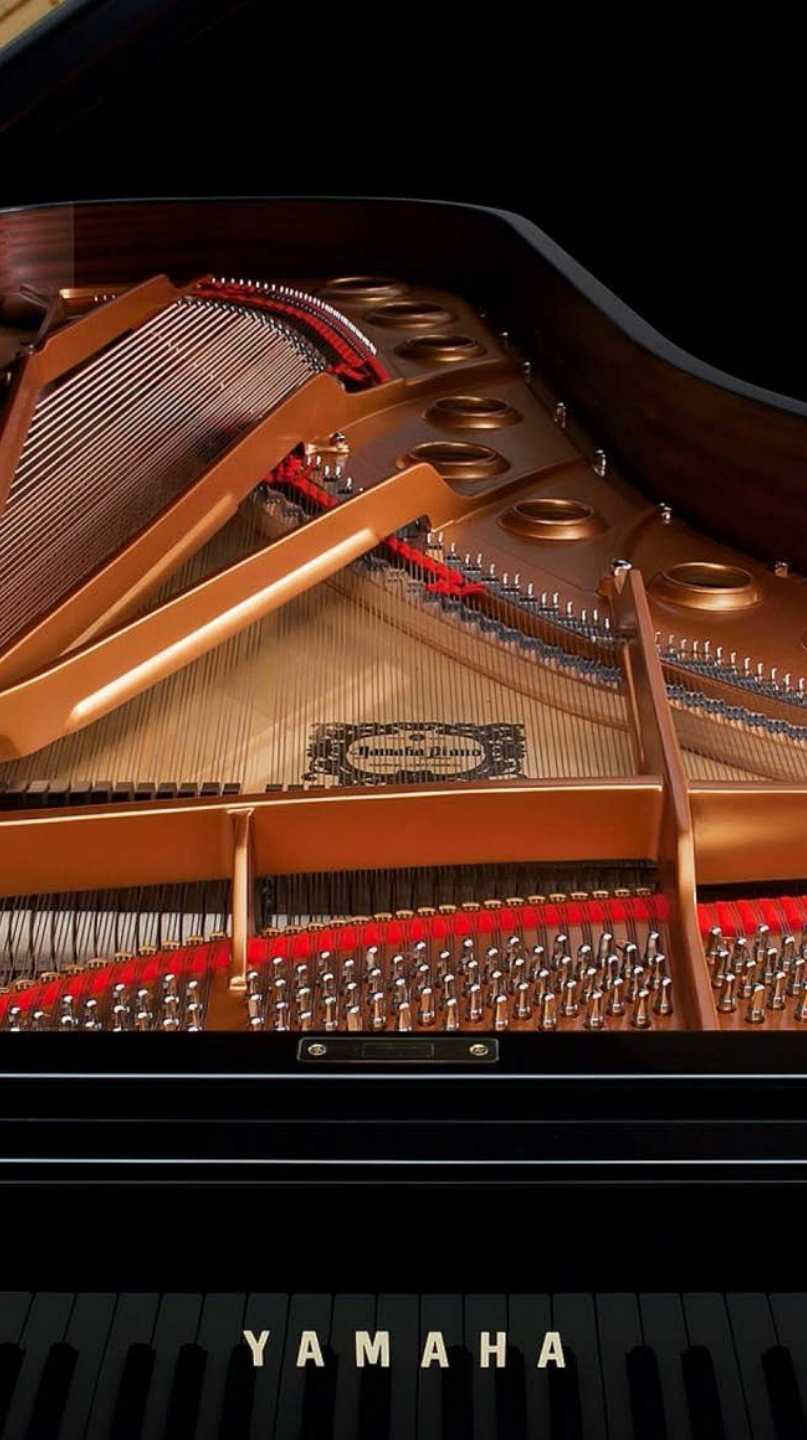
### 【23/3月期 上期実績】

- ・ 中国ロックダウン影響長期化、半導体調達難継続も、為替影響により増収
- ・ 実質減収の中、コスト上昇分の価格対応に加え為替影響の寄与もあり増益
- ・ 第2四半期（3ヶ月）は、実質増収増益

## 業績予想

### 【23/3月期 通期予想】

- ・ 為替影響を折り込み、売上収益、事業利益、当期利益とも上方修正
- ・ 中国ロックダウン影響長期化、エントリーモデル需要軟調地域拡大も  
楽器の中高級品需要は堅調



# 1. 決算概要

# 業績概要

(億円)

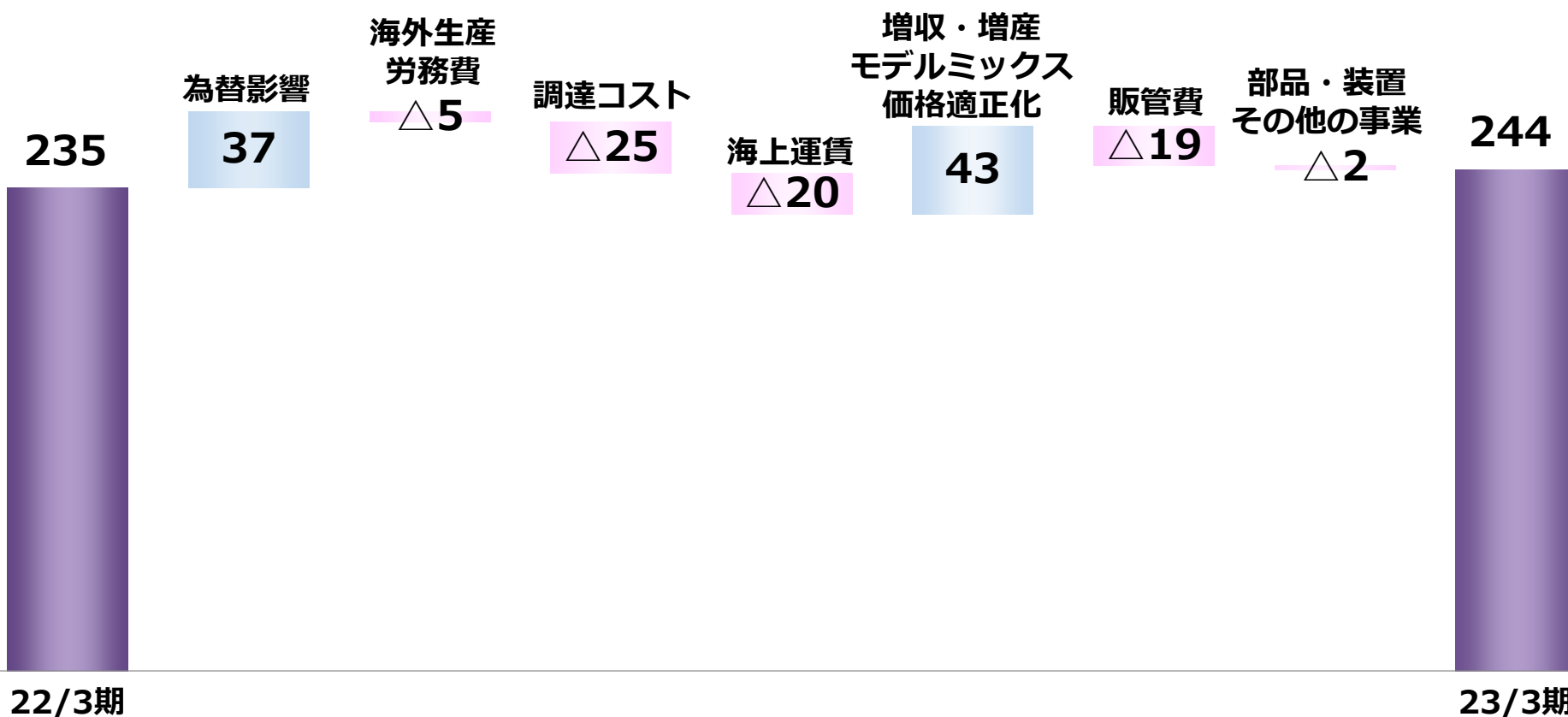
	22/3		23/3		前期比	
売上収益	1,985		<b>2,180</b>		+195	+9.8% <sup>*2</sup>
事業利益 (事業利益率)	235 (11.8%)		<b>244</b> (11.2%)		+9	+3.9%
当期利益 <sup>*1</sup>	214		<b>208</b>		△6	△2.9%
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="background-color: #4a4a8a; color: white; padding: 5px;">為替レート (円)</div> <div style="text-align: right;"> <sup>*2</sup> △1.7% (為替影響除く)         </div> </div>						
売上収益 (期中平均)	US\$	110	<b>134</b>			
	EUR	131	<b>139</b>			
利益 (決済レート)	US\$	110	<b>132</b>			
	EUR	129	<b>134</b>			

\*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

# 事業利益増減要因

## 前期との比較

(億円)



# 事業別業績

(億円)

		22/3	23/3	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	1,338	1,501	163	166
	事業利益	193	206	13	37
	事業利益率	14.4%	13.7%	△0.7P	
音響機器事業	売上収益	474	474	0	43
	事業利益	16	5	△12	△10
	事業利益率	3.4%	1.0%	△2.4P	
部品・装置 その他の事業	売上収益	172	205	32	20
	事業利益	26	34	8	10
	事業利益率	15.2%	16.7%	+1.5P	

# 通期業績予想

(億円)

	22/3	23/3 (前回予想)	23/3 (今回予想)	前期比	前回予想比
売上収益	4,082	<b>4,600</b>	<b>4,700</b>	+618	+100
事業利益 (事業利益率)	430 (10.5%)	<b>500</b> (10.9%)	<b>520</b> (11.1%)	+90	+20
当期利益 <sup>*1</sup>	373	<b>375</b>	<b>410</b>	+37	+35

## 為替レート (円)

## 1円変動による影響額

売上収益 (期中平均)	US\$	112	<b>126</b>	<b>137</b>	約10.5億円
	EUR	131	<b>136</b>	<b>139</b>	約6.3億円
利益 (決済レート)	US\$	112	<b>125</b>	<b>136</b>	約1.1億円
	EUR	131	<b>134</b>	<b>137</b>	約3.9億円

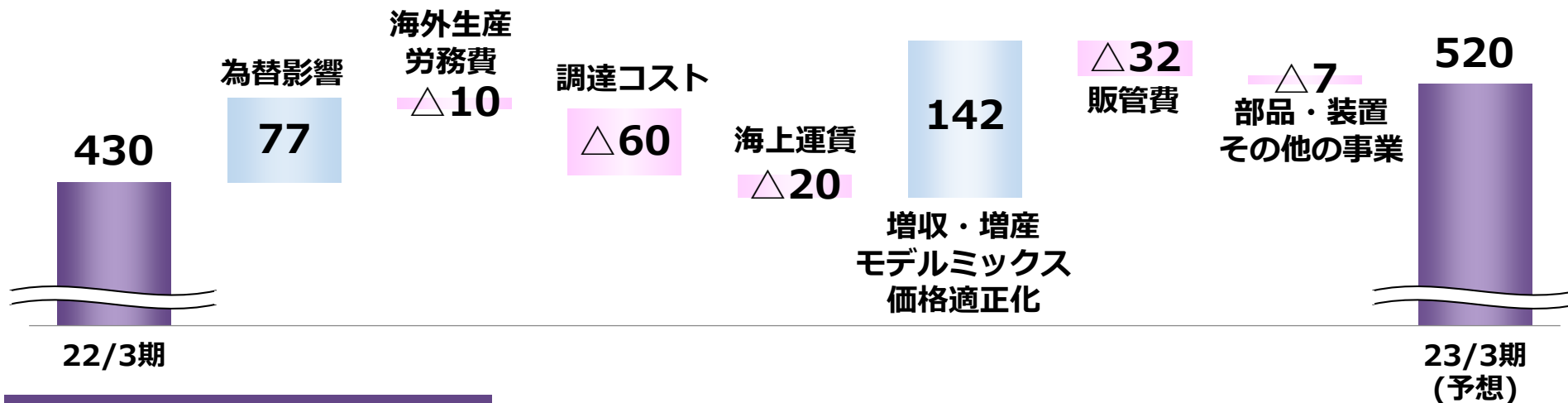
\*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

※下期の為替前提は、US\$140円、ユーロ140円

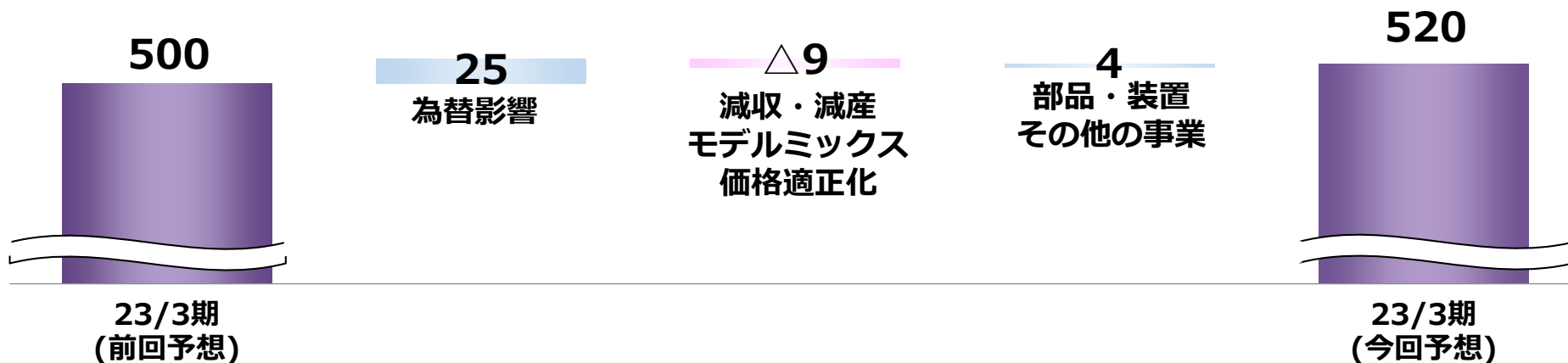
# 事業利益増減要因

## 前期との比較

(億円)



## 前回予想との比較

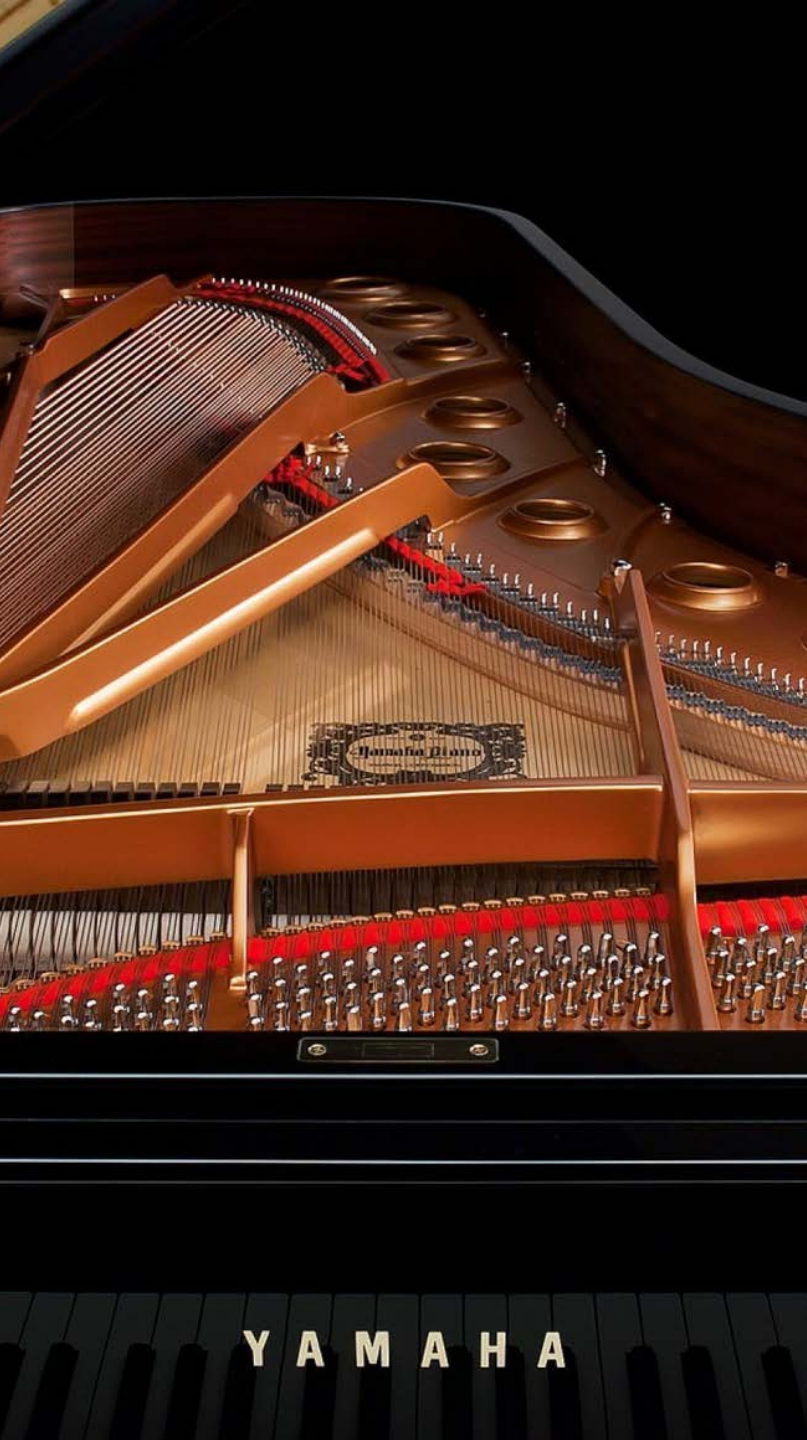




# 事業別業績予想

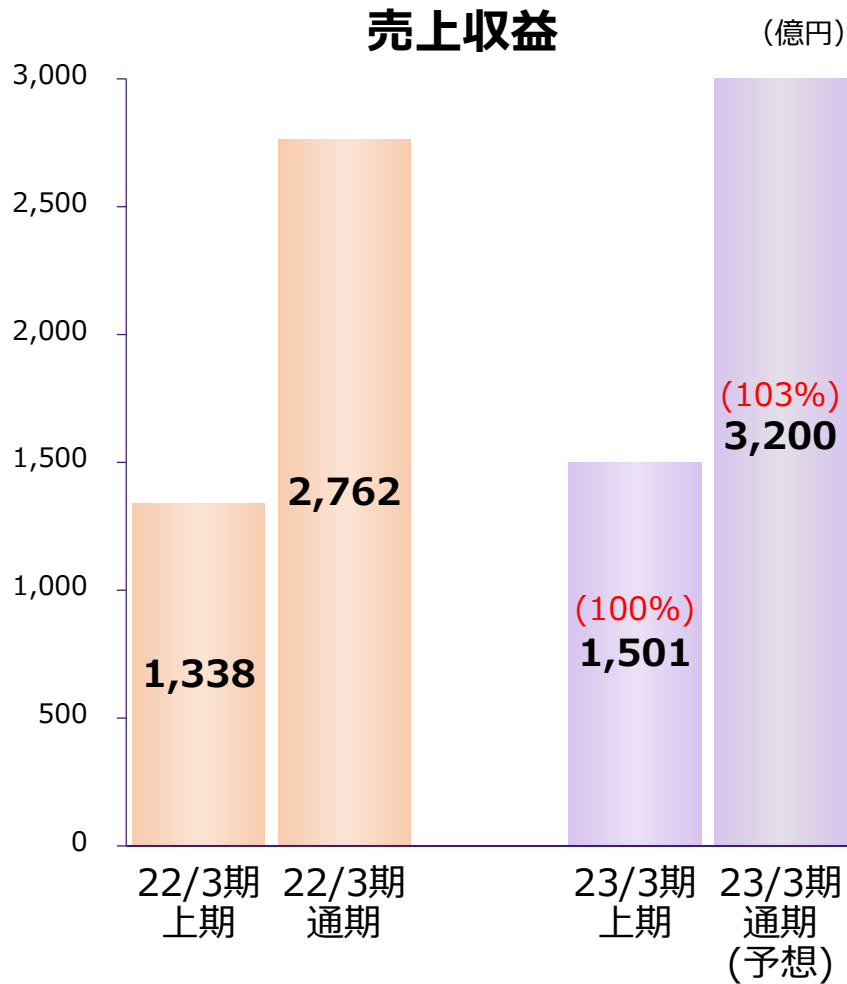
(億円)

		22/3	23/3予想	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	2,762	3,200	438	347
	事業利益	373	440	67	78
	事業利益率	13.5%	13.8%	+0.3P	
音響機器事業	売上収益	969	1,080	111	99
	事業利益	15	30	15	△16
	事業利益率	1.6%	2.8%	+1.2P	
部品・装置 その他の事業	売上収益	351	420	69	42
	事業利益	42	50	8	16
	事業利益率	11.8%	11.9%	+0.1P	



## 2. 事業別概要

# 売上収益・事業利益



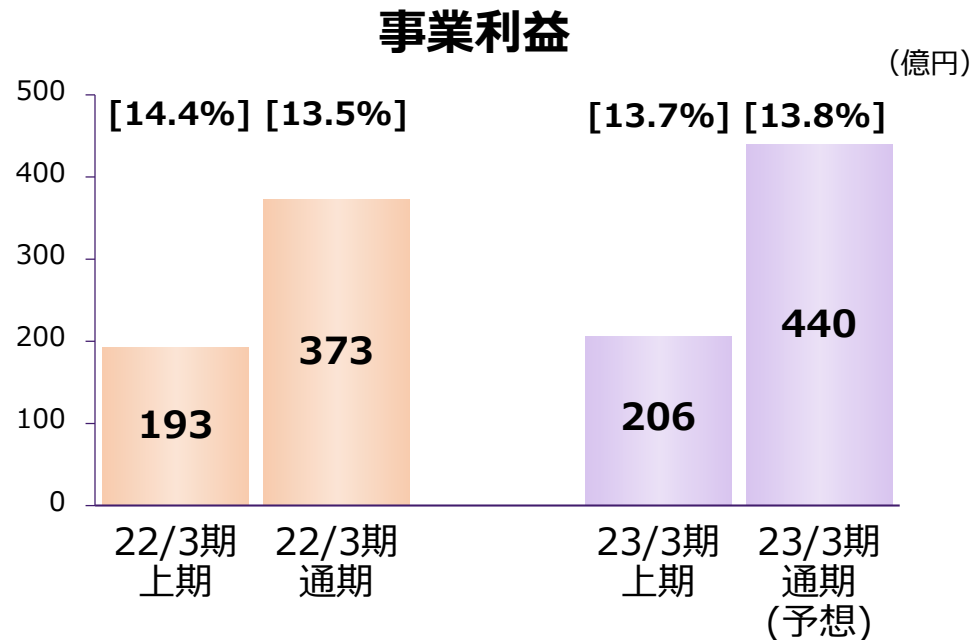
**[上期状況]** 第1四半期の減収をキャッチアップし前年並み

- ・中国ロックダウン影響によりピアノは減収、電子楽器はエントリーモデル需要軟調でほぼ前年並み、管弦打は北米需要旺盛で2桁増収、ギターは中国好調で増収
- ・全地域で、中高級モデル需要は依然旺盛

**[通期見込]** 供給回復により増収を予想

- ・中国ロックダウン影響長期化でピアノは減収、それ以外のカテゴリーは増収を予想
- ・供給不足改善し、エントリーモデルの減速を中高級品でカバー

(増減収はすべて実質ベース)



( )内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

[ ]内は事業利益率

# 主要商品 販売状況

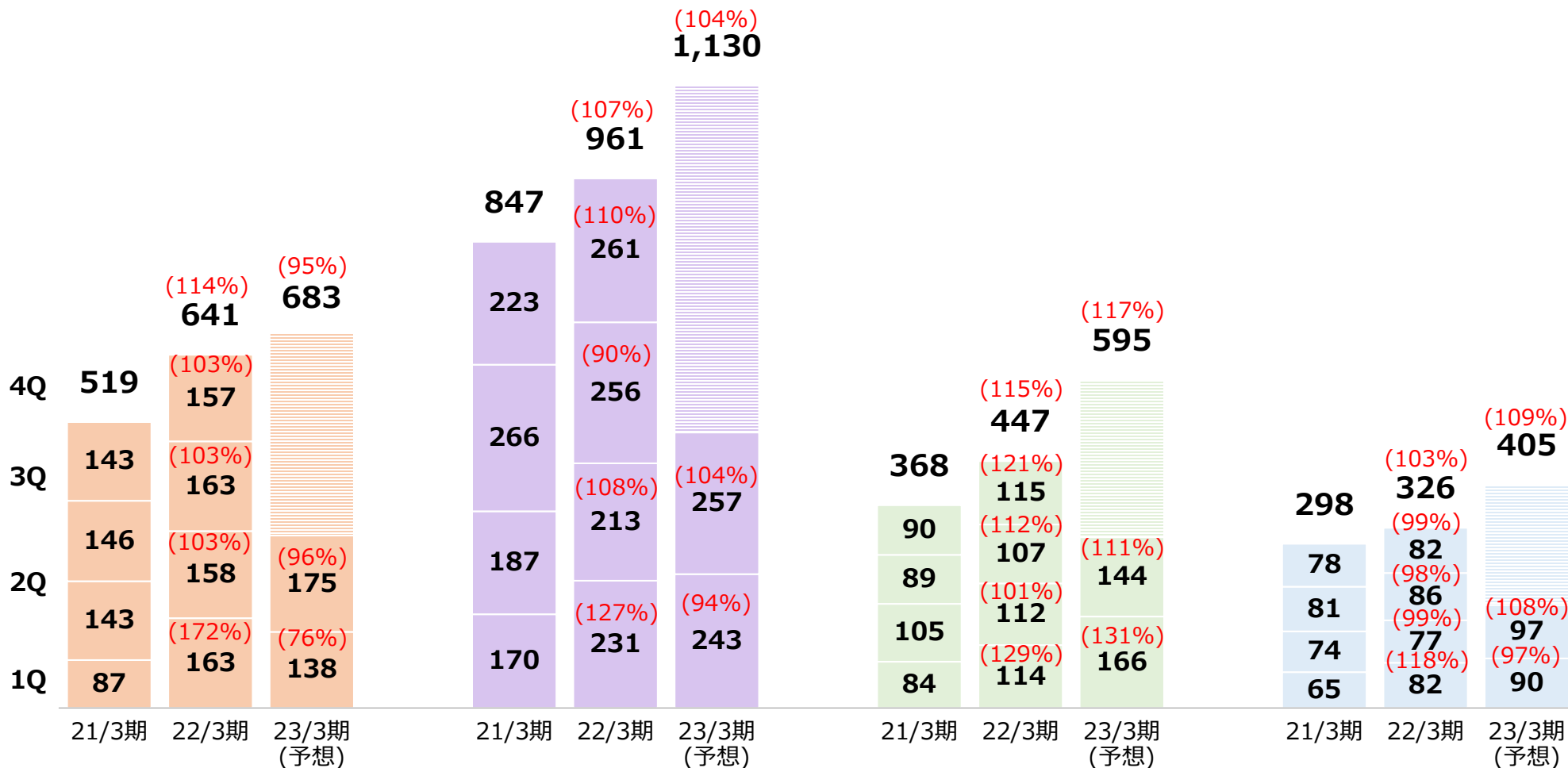
## ピアノ

## 電子楽器

## 管弦打楽器

## ギター

(億円)

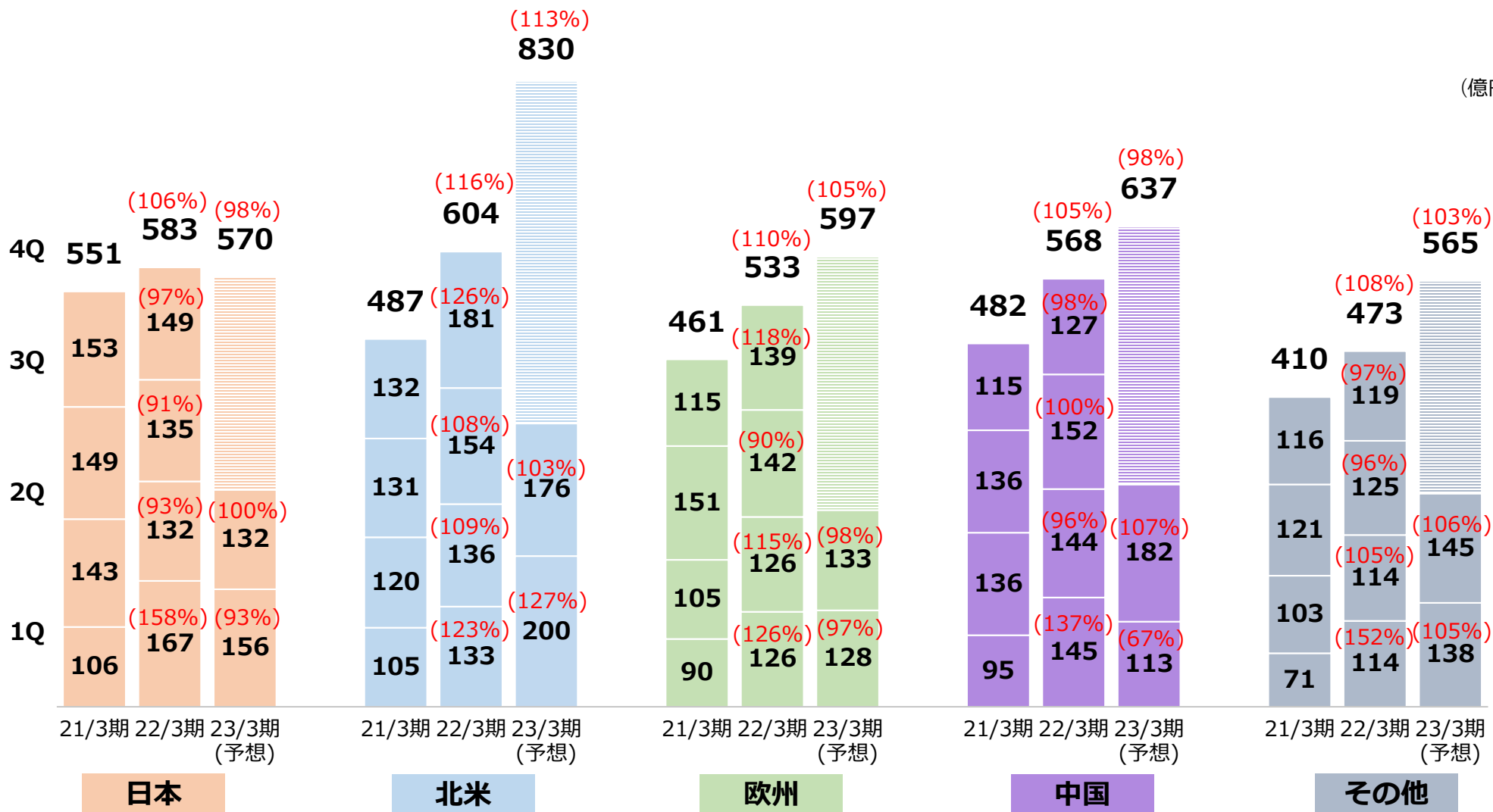


( )内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

\*ギターは、Line 6・Ampegブランド売上を含む 11

# 地域別販売状況

(億円)



※ソフト、音楽教室等を含む

( )内は為替を除いた実質ベースでの前年同期比増減

# 個性際立つ商品の開発

## 幅広い技術を融合した個性的な商品群

ベーゼンドルファー グランドピアノ  
『カメラ』



シェーンブルン宮殿の庭園に咲く椿を  
伝統的な象嵌細工で描き出した華やかな限定モデル

『トランスアコースティック™ピアノ』  
『サイレントピアノ™』新ラインアップ



新開発センサーで繊細な表現まで再現  
いつでも豊かなアコースティックピアノ体験を提供

ミュージックシンセサイザー  
『MODX6+』 『MODX7+』 『MODX8+』



キーボーディストの独創的なサウンド創造と  
ダイナミックな演奏表現を実現

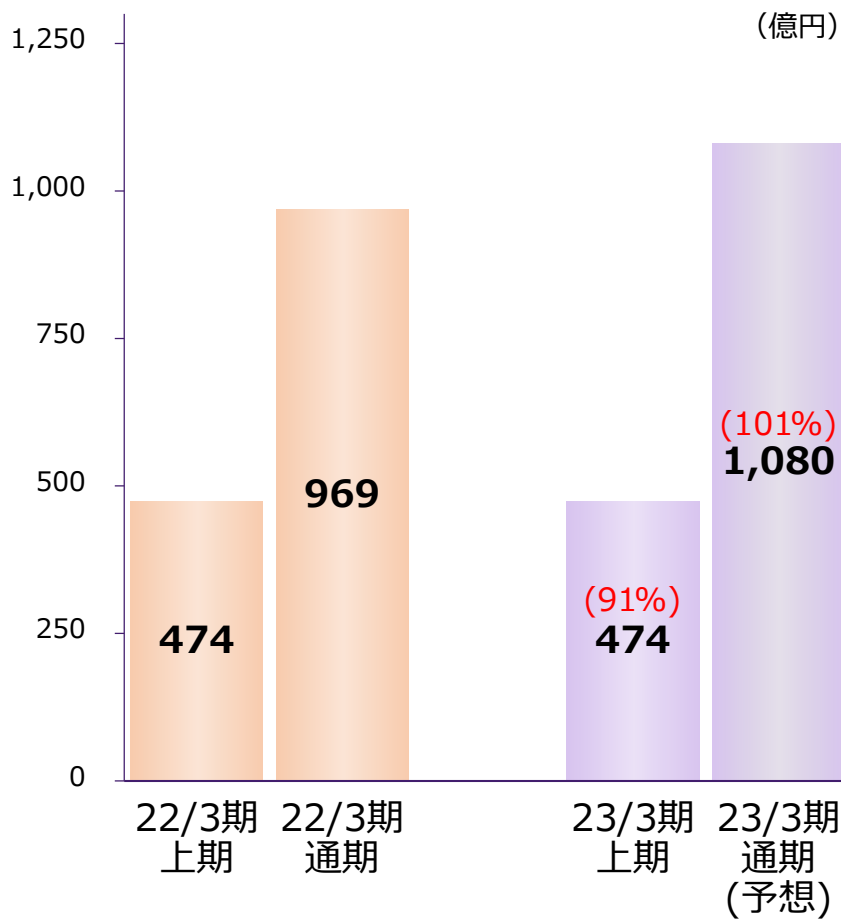
ギターアンプ  
『THR30II Wireless Black / White』



国内外で高い評価を得ている“第3のアンプ”「THR」に  
カラーバリエーションモデルが登場

# 売上収益・事業利益

## 売上収益



( )内は為替を除いた実質ベースでの前年同期比増減

### [上期状況] 半導体調達難の影響続き減収

- ・AV・PAは半導体調達難による供給不足が続き減収
- ・ICTはネットワーク需要旺盛で、UC\*特需反動減を補い前年並み

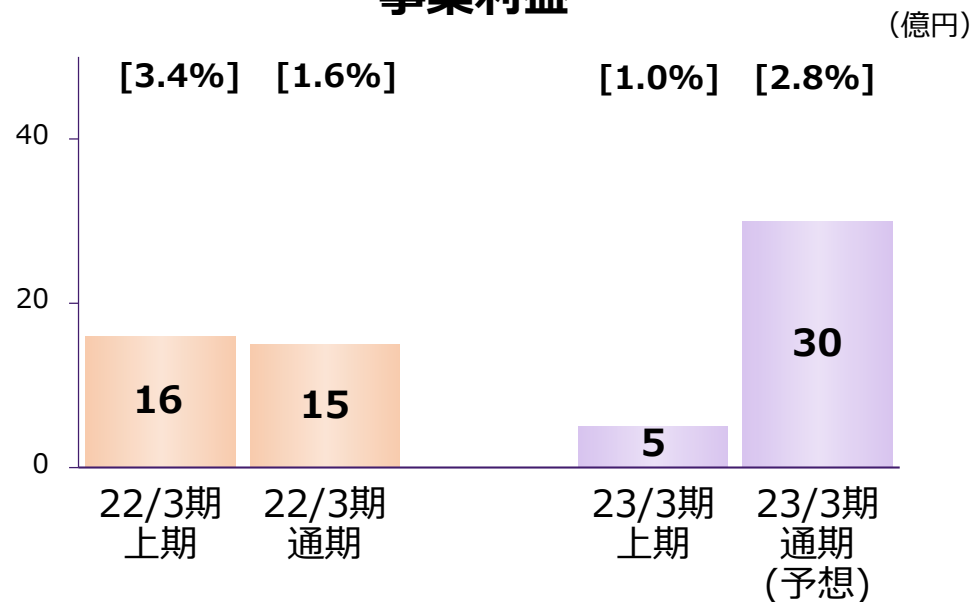
### [通期見込] 半導体調達難影響継続も増収を予想

- ・AVは半導体調達難影響継続し減収を予想
- ・PAは半導体調達難の影響あるも、一部改善が見られ増収を予想
- ・ICTは旺盛なネットワーク需要に加え、UCの法人需要増により増収を予想

\*UC:会議システム

(増減収はすべて実質ベース)

## 事業利益



[ ]内は事業利益率

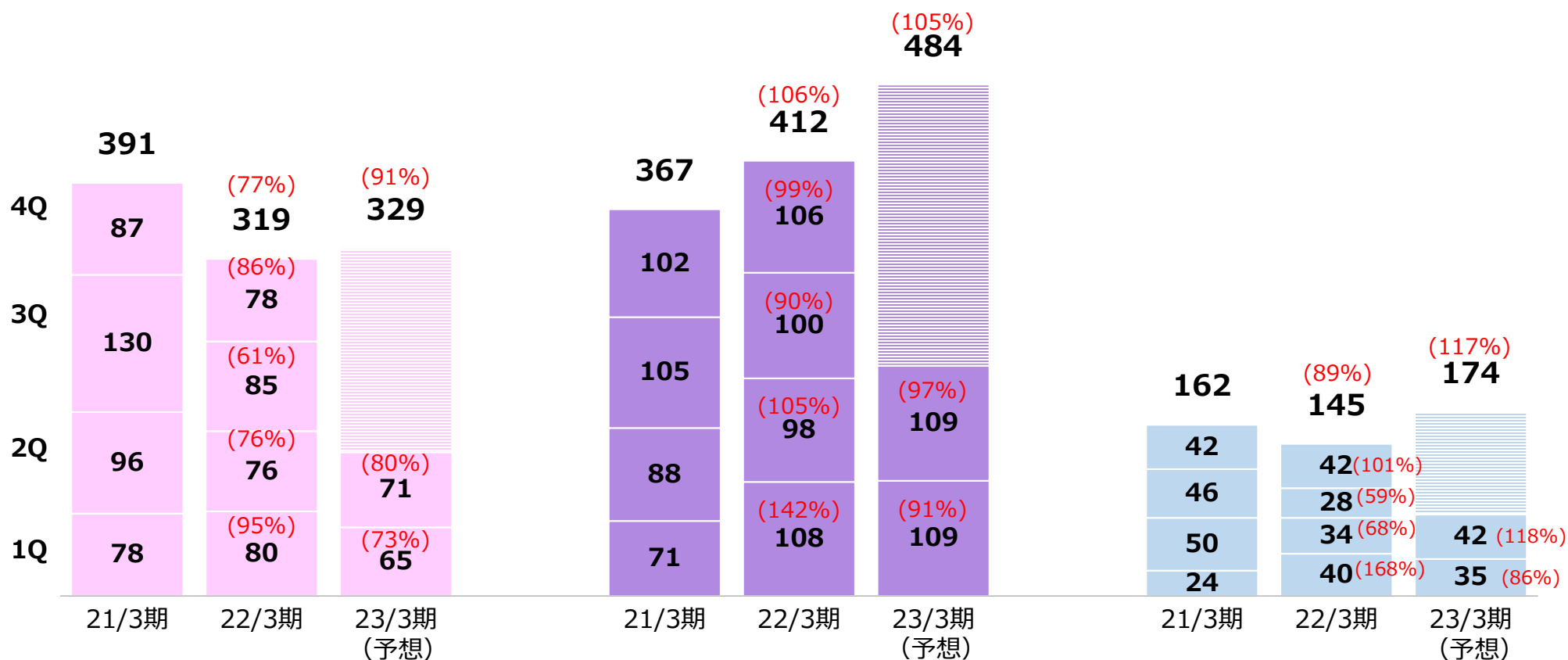
# 主要商品 販売状況

## AV機器

## PA機器

## ICT機器

(億円)



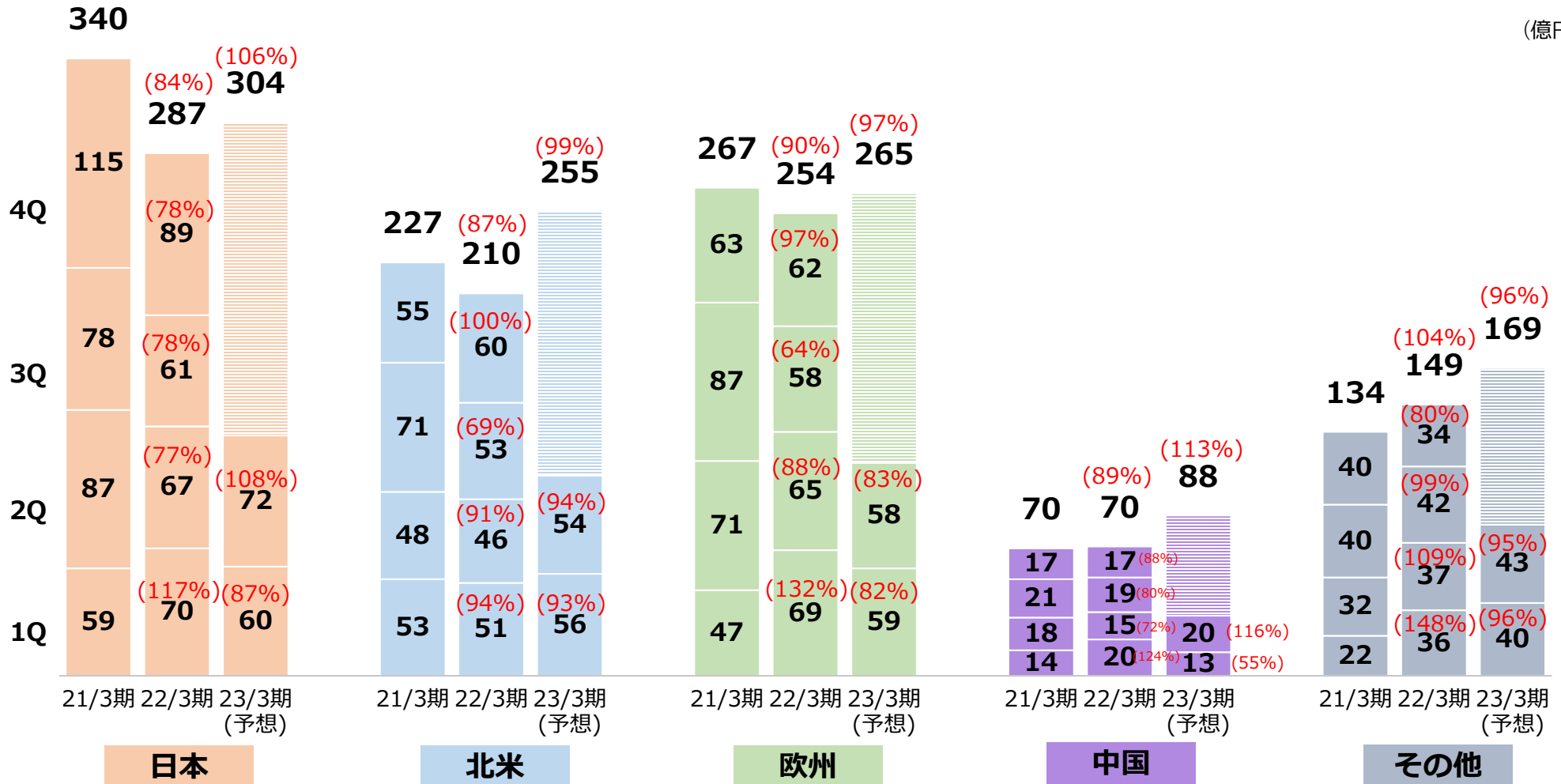
※PA機器はハード売上収入のみ（設備工事を除く）

( )内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減



# 地域別販売状況

(億円)



( )内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

# 個性際立つ商品の開発

## 多様なニーズに応える商品展開

### ゲームストリーミングミキサー『ZG01』 ヘッドセット『YH-G01』



直感的な操作と独自の音声処理で  
没入感の高いゲーム体験を提供

### 完全ワイヤレスBluetooth®イヤホン 『TW-E7B』



アーティストの想いを表現する音質と  
耳の健康への配慮を両立した最上位モデル

### ポータブルPAシステム 『STAGEPAS 1K mkII』 パワードスピーカー『DXL1K』



オールインワンPAシステムの新モデルと  
増設や組み合わせに最適な簡易ミキサーモデル

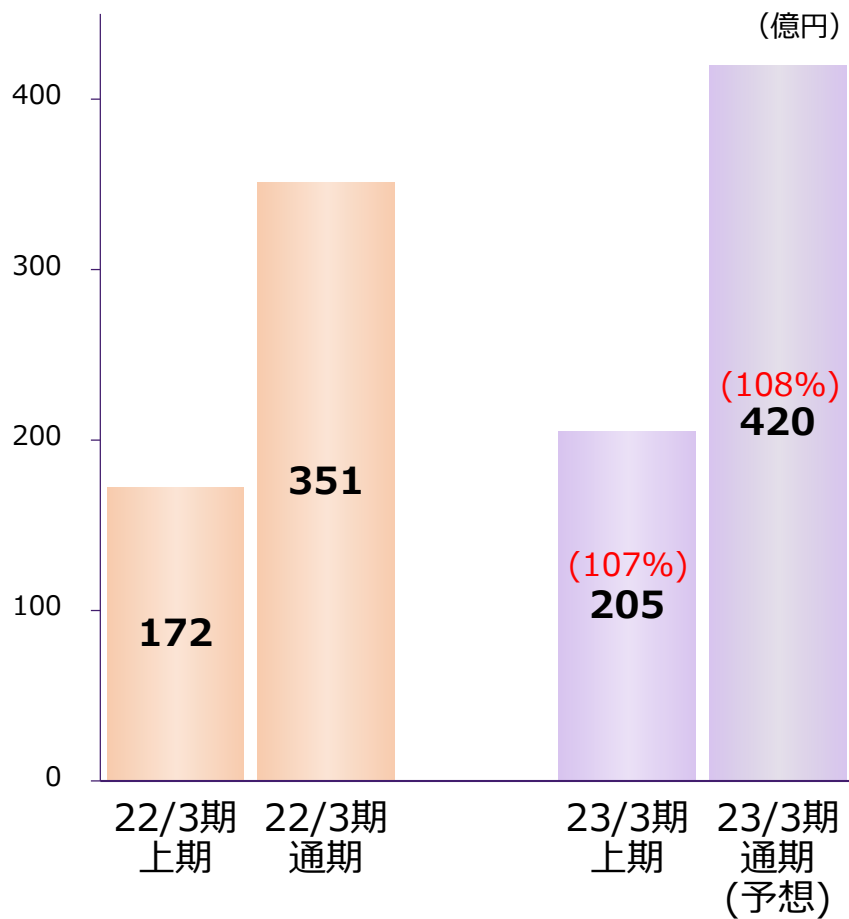
### 10ギガアクセスVPNルーター 『RTX1300』



RTXシリーズで好評な機能を継承・強化し  
新たに10ギガビットにも対応

# 売上収益・事業利益

## 売上収益



### [上期状況]

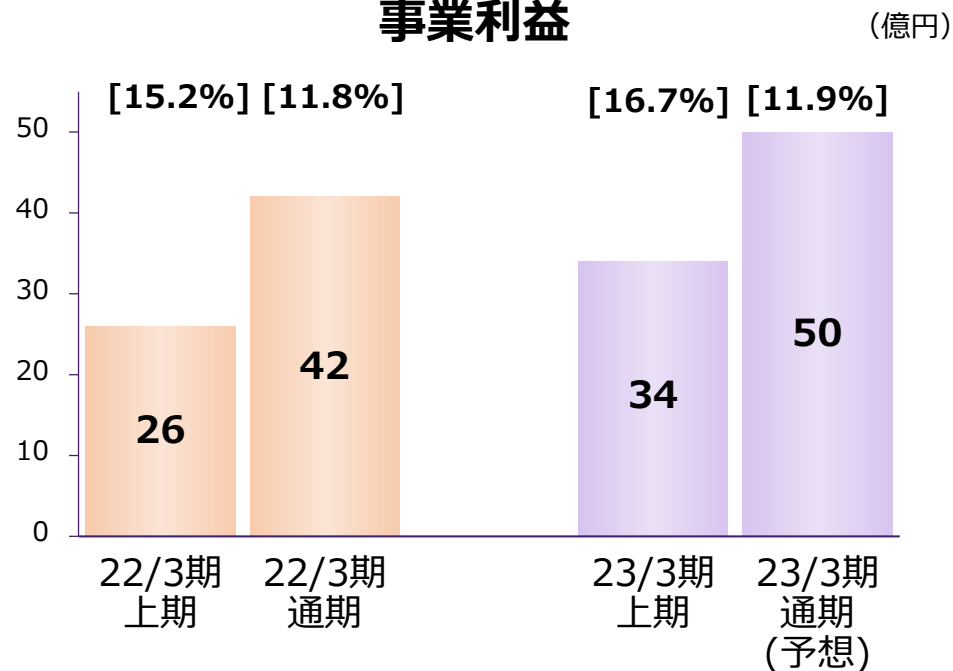
- ・半導体調達難により電子デバイスは減収
- ・FA機器は需要低調も、自動車用内装部品は販売回復

### [通期見込]

- ・車載ビジネスの拡大により増収を予想

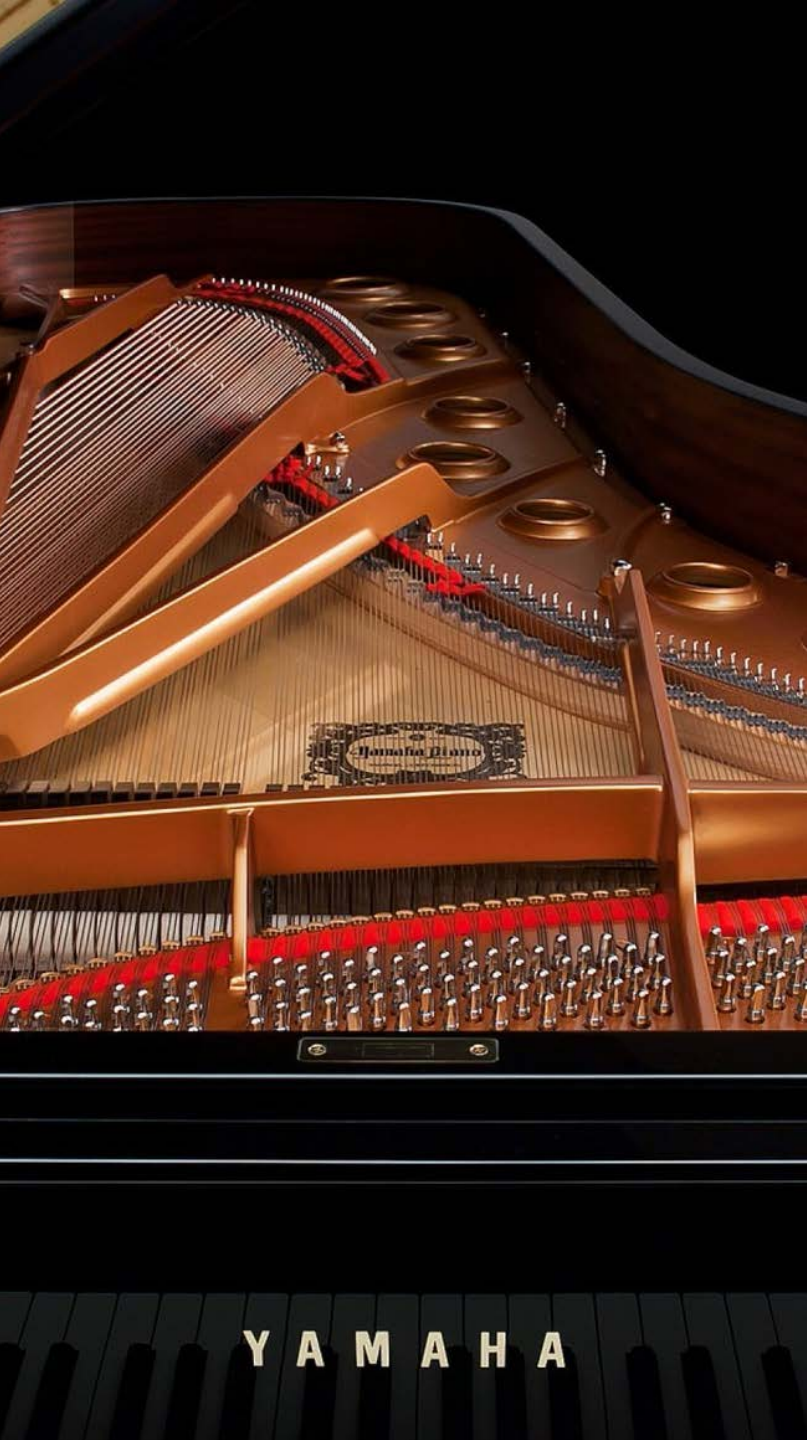
(増減収はすべて実質ベース)

## 事業利益



( )内は為替を除いた実質ベースでの前年同期比増減

[ ]内は事業利益率



### 3. その他財務数値

# 貸借対照表

(億円)

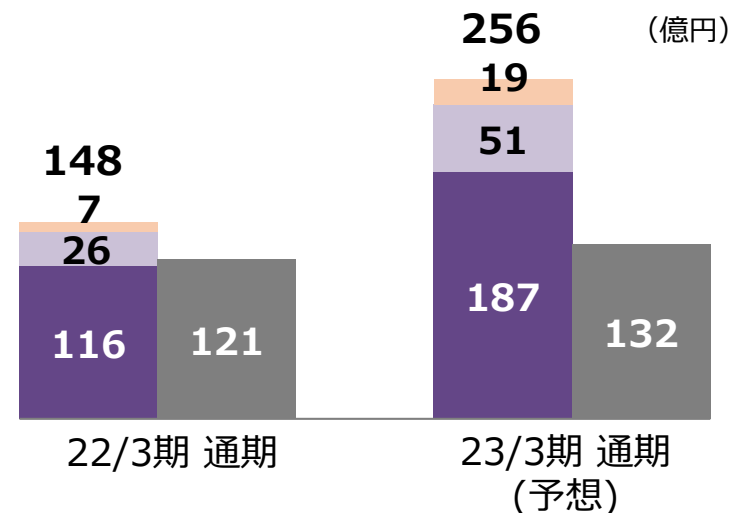
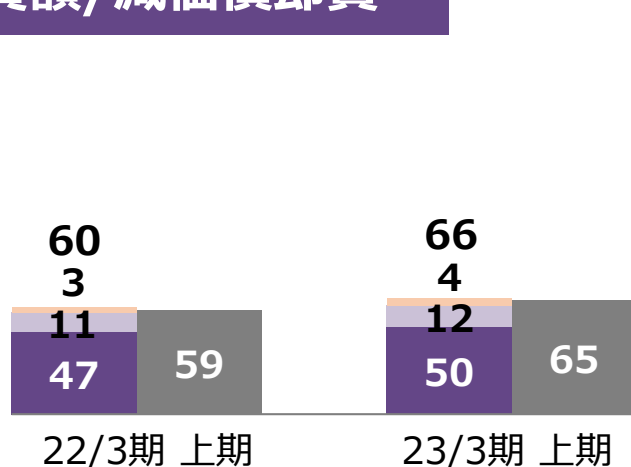
	22/3末	23/3 上期末	増減	23/3末 (予想)
現金及び現金同等物	1,725	1,398	△327	1,590
営業債権他	600	644	44	690
その他金融資産	44	26	△17	25
棚卸資産	1,186	1,565	379	1,430
他流動資産	72	86	15	100
非流動資産	2,183	2,219	36	2,295
<b>資産計</b>	<b>5,809</b>	<b>5,940</b>	<b>130</b>	<b>6,130</b>
流動負債	1,261	1,055	△206	1,150
非流動負債	389	397	8	390
資本計	4,159	4,488	329	4,590
<b>負債及び資本計</b>	<b>5,809</b>	<b>5,940</b>	<b>130</b>	<b>6,130</b>

# 設備投資額・減価償却費/研究開発費

## 設備投資額/減価償却費

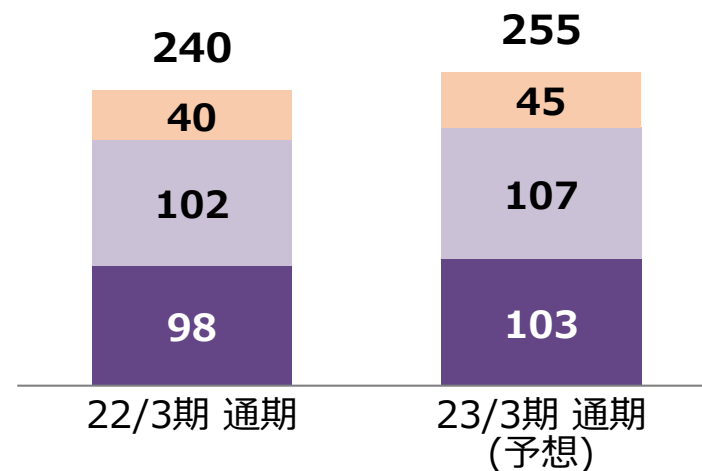
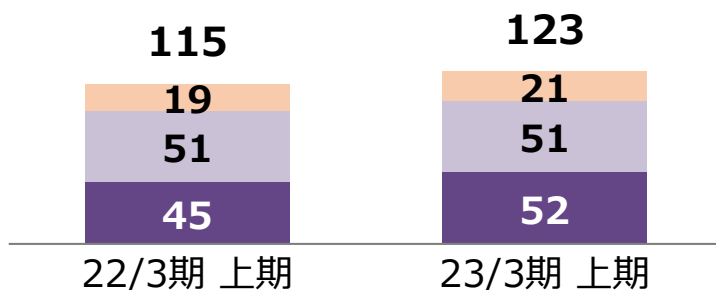
※通期予想は前回(2022年8月)から変更なし

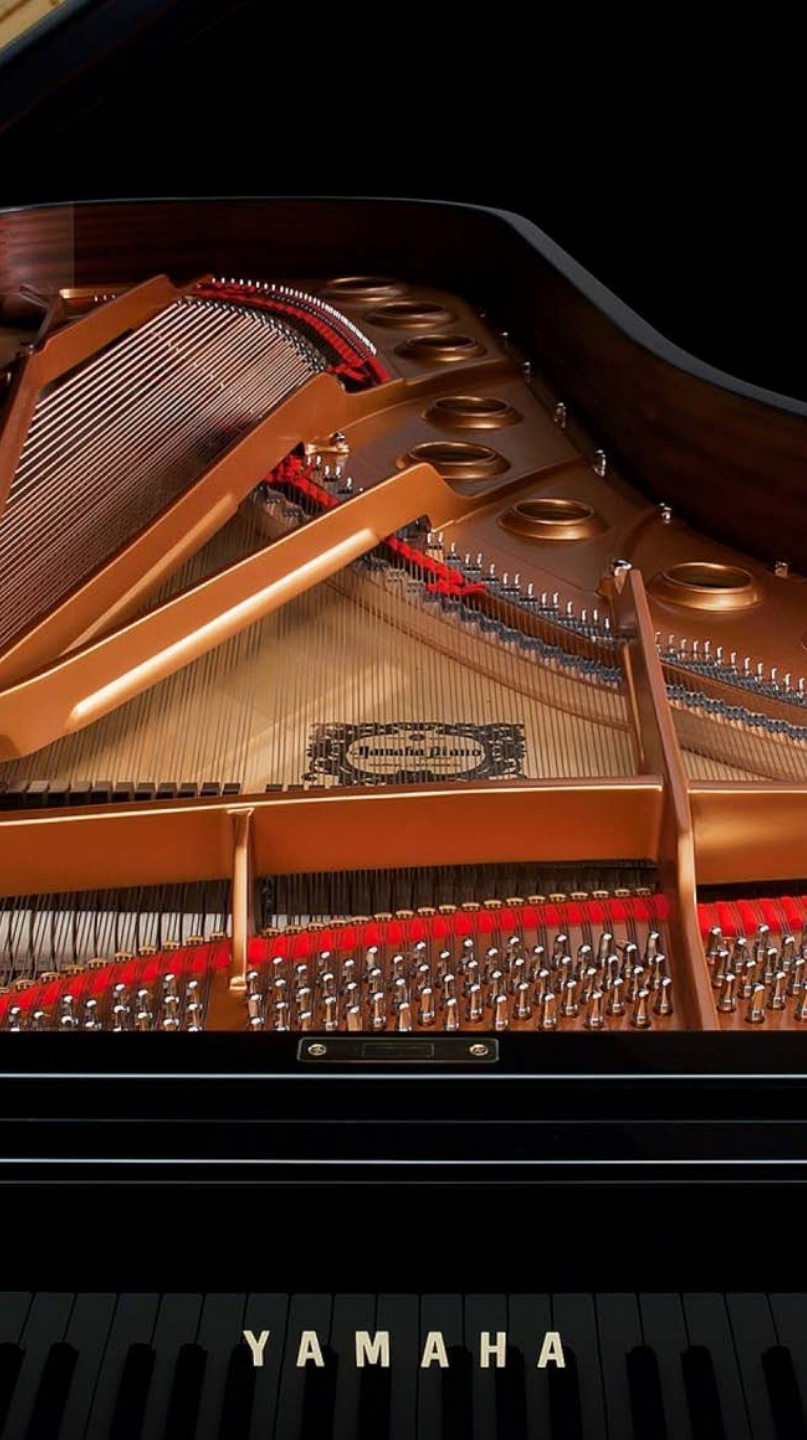
- その他
- 音響機器
- 楽器
- 減価償却費



## 研究開発費

- その他
- 音響機器
- 楽器





## 4. トピックス



# 中期経営計画重点テーマ (1)

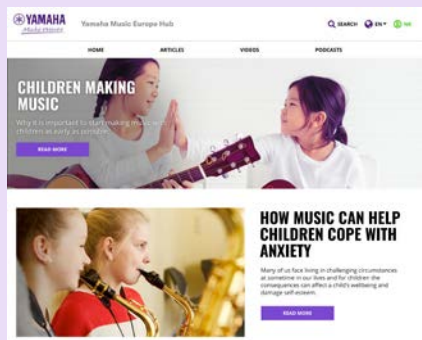
## 事業基盤をより強くする

### 顧客ともっと繋がる

#### 日本および欧州で Yamaha Music IDへの移行開始



<https://music-id.jp.yamaha.com/>



<https://hub.europe.yamaha.com/index/home>

## 新たな価値を創出する

### リアルタイムで“あの人”の歌声になれるAI技術を開発



AIを活用した、あらゆる人の歌声を、特定の人  
の歌声に変換する技術TransVox™を搭載したマイク

[https://www.yamaha.com/ja/news\\_release/2022/22082401/](https://www.yamaha.com/ja/news_release/2022/22082401/)

## 2022年度グッドデザイン賞受賞

### グッドデザイン・ベスト100選出



業務用アナウンスシステム

[https://www.yamaha.com/ja/news\\_release/2022/22100701/](https://www.yamaha.com/ja/news_release/2022/22100701/)



## アジアデザイン賞 2022受賞



Grand Award受賞  
カジュアル管楽器Venova



[https://www.yamaha.com/ja/news\\_release/2022/22102601/](https://www.yamaha.com/ja/news_release/2022/22102601/)

## 「日経コンピュータ 顧客満足度調査 2022-2023」 ネットワーク機器部門において7年連続で第1位を獲得

「日経コンピュータ 2022年9月1日号 顧客満足度調査 2022-2023ネット  
ワーク機器部門」において7年連続（通算8回目：2007年、2016年～  
2022年）で第1位を獲得



[https://www.yamaha.com/ja/news\\_release/2022/22082201/](https://www.yamaha.com/ja/news_release/2022/22082201/)



# 中期経営計画重点テーマ (2)

サステナビリティを  
価値の源泉に

【文化】  
音楽文化の普及・発展によ  
り市場を拡大する

新興国での器楽教育普及  
の取り組み



キーボードプログラム開始 (インド)



音楽授業の教員研修を実施 (エジプト)

ともに働く仲間の  
活力最大化

人権尊重とDE&Iを  
推進する

Equileap社 日本企業ジェンダー  
平等ランキング トップ10入り



[https://www.linkedin.com/posts/yamaha-corporation\\_shared-photo-activity-6958708009057325056-vdW3/?trk=public\\_profile\\_like\\_view](https://www.linkedin.com/posts/yamaha-corporation_shared-photo-activity-6958708009057325056-vdW3/?trk=public_profile_like_view)

<https://equileap.com/equileap-reports/>

エンゲージメントツール発行

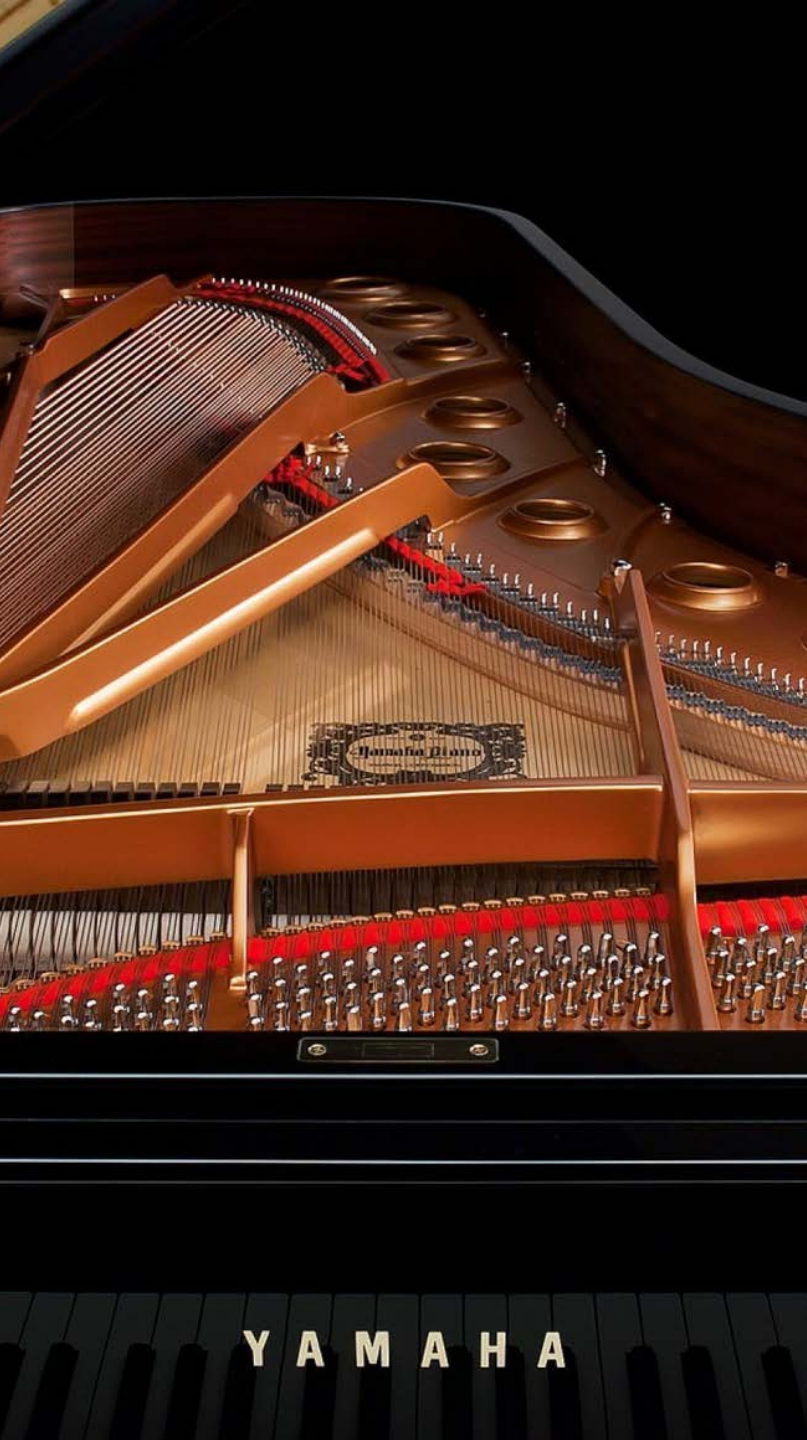
ヤマハグループ  
統合報告書2022  
サステナビリティレポート2022  
発行



<https://www.yamaha.com/ja/ir/publications/>



<https://www.yamaha.com/ja/csr/download/>



# 付属資料

# 2Q 業績概要

(億円)

		22/3	23/3	前期比	
売上収益		960	<b>1,121</b>	+161	+16.8% <sup>*2</sup>
事業利益 (事業利益率)		101 (10.5%)	<b>134</b> (12.0%)	+33	+32.8%
当期利益 <sup>*1</sup>		80	<b>122</b>	+42	+52.3%
為替レート (円)					
売上収益 (期中平均)	US\$	110	<b>138</b>		*2 +2.7% (為替影響除く)
	EUR	130	<b>139</b>		
利益 (決済レート)	US\$	110	<b>137</b>		
	EUR	131	<b>137</b>		

\*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

# 2Q 事業別実績

(億円)

		22/3	23/3	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	653	767	115	97
	事業利益	89	110	21	23
	事業利益率	13.6%	14.3%	+0.7P	
音響機器事業	売上収益	229	247	18	25
	事業利益	3	8	6	△6
	事業利益率	1.2%	3.4%	+2.2P	
部品・装置 その他の事業	売上収益	78	107	29	13
	事業利益	10	16	7	9
	事業利益率	12.3%	15.1%	+2.8P	

# 上期 その他収支等

(億円)

		22/3	23/3
<b>事業利益</b>		<b>235</b>	<b>244</b>
その他収益・費用収支	固定資産処分損益	47	△0
	その他	6	3
	計	53	3
<b>営業利益</b>		<b>288</b>	<b>247</b>
金融収支計	受取配当金	22	13
	その他	△15	41
	計	7	54
<b>税前利益</b>		<b>295</b>	<b>301</b>
法人税等		81	93
非支配株主利益		△0	0
<b>当期利益*</b>		<b>214</b>	<b>208</b>

\* 親会社の所有者に帰属する当期利益

# 通期 その他収支等

(億円)

		22/3	23/3 (予想)
<b>事業利益</b>		<b>430</b>	<b>520</b>
その他収益・ 費用収支	固定資産処分損益	46	△0
	その他	17	5
	計	63	5
<b>営業利益</b>		<b>493</b>	<b>525</b>
金融収支計	受取配当金	34	24
	その他	3	26
	計	37	50
<b>税前利益</b>		<b>530</b>	<b>575</b>
法人税等		157	164
非支配株主利益		1	1
<b>当期利益*</b>		<b>373</b>	<b>410</b>

\* 親会社の所有者に帰属する当期利益

この資料の中で、将来の見通しに関する数値につきましては、ヤマハ及びヤマハグループ各社の現時点での入手可能な情報に基づいており、この中にはリスクや不確定な要因も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、米ドル、ユーロを中心とする為替動向等により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があります。